

BUỔI



Trung văn ②

問題 55 :

同じ温度なのに暖かく感じたり、すごく冷たく感じたりすることが、日常の生活の中にもよくあります。ただ、①あまり意識していないだけなのです。

たとえば、部屋の気温が 20° C だとします。暑くも寒くもなく、ちょうどいい温度です。ところが、20° C の水風呂に入るとどうなるでしょう。相当冷たく感じますね。

(中略)

熱の伝わりやすさを表す尺度を「熱伝導率」といいますが、その伝導率が高いものに触るとパッと速く熱が移動します。そのスピードが速いとき、体感的に冷たく感じるのです。

②これに比べて空気というのはなかなか熱が伝わりにくいのです。われわれは空気のその性質を利用して、熱を逃がさないようにしています。たとえば寒いときは、服を何枚も重ね着しますね。これは、重ね着をすることによって、空気の層を何層も作って、熱が移動しにくい状況をつくっているのです。住宅の壁の中に入っている断熱材も、基本的には空気をうまく閉じ込める仕掛けになっているわけです。ですから座布団など、ふわっとした、空気を包んだものを触ると、温かく感じますし、③20° C の空気の中にいればそれほど寒くも暖かくも感じない、ちょうどいい温度なのです。

問い 1 : ①あまり意識していないとあるが、何を意識していないのか。

1. 部屋の温度が何度なのかということ
2. 日常生活の中では温度がよく変化すること
3. 同じ温度でも場合によって感じ方が違うこと
4. 日常の生活では本当の温度より冷たく感じることに

問い 2 : ②これは何を指しているか。

1. 熱
2. 水
3. 熱伝導率
4. 熱が移動する速さ

問い 3 : ③ 20°C の空気の中にいればそれほど寒くも暖かくも感じないのは、なぜか。

1. 住宅の壁に断熱材が入っているから
2. 着を着て、空気の層を作っているから
3. 空気は熱伝導率が高く、熱が伝わりやすいから
4. 空気は熱伝導率が低く、熱を逃がしにくいから